

咬合系歯科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 欠損補綴における可撤性補綴装置とデンタルインプラントの比較
～残存歯および補綴装置の予後～

[研究機関] 北海道大学病院咬合系歯科

[研究責任者] 齋藤 正恭（歯学研究科口腔機能補綴学教室・准教授）

[研究の目的]

部分入れ歯とデンタルインプラントがどのくらいの期間使用できるのかを比べ、それらが残っている歯に与える影響について調べること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

- ・平成15年10月1日から平成23年3月31日の間にデンタルインプラントか部分入れ歯を新しく入れた方
- ・平成23年4月1日から平成24年3月31日に受診された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、補綴装置（デンタルインプラント・部分入れ歯）の種類・設計、口腔内所見（欠損部位、欠損歯数、残存歯の状況）、残存歯および補綴装置の転帰（例：歯を抜いた、虫歯の治療をしたなど）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院咬合系歯科

担当歯科医師 高山 芳幸・野川 敏史

電話 011-706-4346